

互近助

# おか防くん

No. 2

2019年  
6月



岡保地区自主防災組織連絡協議会 福井市河水町 10-13 岡保公民館内 ☎0776-54-2519

こんにちは、**おか防くん**です。ぼくは、岡保のみなさんといっしょに「災害」や「防災」について学び、もしも災害が起きたときには、素早く、的確な行動がとれるようになりたいと思っています。そのためには、日頃から“互いに 近くの人と 助けあう”互近助さんのおつきあいをモットーにして、町内のみんなで作る自主防災会をめざします。

## 「共助」テーマに みんなで考える防災訓練 安全・安心を自治会・自主防災会・町内の協力で

岡保地区では、昨年から「岡保地区防災訓練3か年計画」に取り組んでいます。

これは、大災害が起きたときに、どのように行動し、町内のみなさんが安全と安心を確保するために、どのようなことが必要か、避難生活をしなければならなくなったときにも対応できるように、3年でその基本となるカタチをつくらうというものです。

1年目の昨年は、「自助」をテーマに、まず何よりも自分の安全をどう守るのかを中心として行い、各町で工夫を凝らして訓練参加を呼びかけるなどして、シェイクアウト訓練と各町それぞれの訓練に取り組みました。

2年目となる今年は、「共助」をテーマに、隣近所、そして避難行動要支援者の人も含めてみんながどのように避難するか、そのためには自治会・自主防災会で役割を分担した取り組みが求められることとなります。自動車が使えない場合に、どのように避難所(岡保小学校)まで行くのか、そのときどのような問題があるのかを実際に行動する中で考えたいと思います。また、町内に残る場合は、どのような心配や問題があるのかなどをみなさんで話しあっていただきたいと思います。

3年目となる来年の訓練は、岡保小学校に集合して総合訓練に取り組めます。

そして今年と来年の訓練を通じて、災害発生から避難までの基本的なカタチを、実際に行動する中で、誰もがイメージを持てるようになりましょう。

### ●今年の岡保地区防災訓練は…

- |        |   |   |
|--------|---|---|
| ◎日     | 時 | 6月23日(日) 8:00~(雨天決行)  |
| ◎場     | 所 | 各町内指定場所・岡保小学校   |
| ◎今年の目標 |   | ・「共助」をテーマに、各町自主防災会での役割分担を考える<br>・避難所に誰もが行けるように、町内に残る場合はどうするか<br>災害時の行動のイメージをつくる<br>・来年の総合防災訓練につながる訓練として取り組む |



今年の防災訓練は6月23日(日)だよ。みんなで参加してね

# 訓練の流れです

- ①午前8時にサイレンが吹鳴され、避難行動を開始します
  - ②各家庭でシェイクアウト訓練を
  - ③家族の安否確認し、非常持ち出し袋などを持って家の外へ
  - ④玄関を施錠し、玄関戸などに「避難済」のタオルを掲出して
  - ↓
  - ⑤自治会・自主防災会で決められた一時避難場所へ避難します
  - ⑥一時避難場所で避難者数を確認し、災害対策本部に連絡します
  - ↓
  - ⑦一部参加者（町内戸数×1/4を目安に）は「避難所」の小学校に向かいます
  - ⑧残る参加者（避難所に行かなかった人たち）は集落センターなど集会所へ
  - ↓
  - ⑨集落センターなどで各町内での話しあい・防災学習に取り組みます
  - ⑩避難者（岡保小学校到着者）は各種訓練を体験します  
（避難者には、おにぎりとお味噌汁が配布されます）
- ※小学校での訓練は11時頃終了を予定しています。

## 具体的には

### ◎自宅で

- \*シェイクアウト訓練  
（昨年と同じように）
- \*避難済タオルの掲出  
（玄関先などに）

訓練は3つの安全行動を“その場”で行うだけ!



1分程度

イラスト提供：日本シェイクアウト訓練会

### ◎一時避難場所で



- \*避難者の確認、避難状況の点検をしましょう。  
隣近所、避難行動要支援者の人は大丈夫ですか？
- \*余裕があれば、防災役員が「避難済」タオルの確認に回ることなども検討してください。
- \*岡保地区災害対策本部にトランシーバーを使って、避難状況を報告してください。（負傷状況・家屋の被災概要などと避難所に向かう人数・状況も連絡します。）
- \*2グループに分かれる説明・指示をします。  
（避難する人たちと町内に残る人たち）

### ◎集落センター等で

- \*町内に残る人たちは  
集落センターなど集会所へ

話しあいや防災学習 DVD 等の視聴に取り組みましょう。

- \*「話しあい資料」は地区で用意し配布します。
- \*防災DVDなどを視聴するときは、プロジェクター・テレビなどの手配も必要です。  
話しあいをするときは、班や組に分かれて話しあいましょう。



### ◎岡保小学校へ

- \*一部の人（住戸数の1/4の人数）は避難所（岡保小）へ

自動車は使えません。災害時の状況を想像して、リヤカーや担架を使って、「負傷者」を乗せたら、どのぐらいの時間がかかるでしょうか。



【避難者(岡保小学校に行く人)の目安数】

人

	印田町	殿下町	寮町	堅達町	河水町	大畑町	宮地町	花野谷町	次郎丸町	岡西谷町	合島町	荒木別所	曾万布町	合計
世帯数	24	125	60	52	65	53	35	33	18	11	20	38	77	611
避難目安	6	31	15	13	16	13	9	8	5	3	5	10	19	153

※避難目安数には、災害対策本部・炊き出し準備人数を含む

## 岡保小学校で

\*訓練終了を11時ごろに予定していますが、避難所に近い河水と堅達・坂下、花野谷、合島では、避難に必要な時間に大きな差があるため、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

### 通信訓練

各町自主防災会と災害対策本部で、

一時(町内集合)避難場所集約した避難状況・負傷状況、家屋の被災概要、そして避難所に向かう人数・状況などをトランシーバーを使って連絡・集約します。



### 避難所開設・受付訓練

体育館に避難時の居住レイアウトを行います。

避難者は町内ごとに受付を行い、避難者名簿に登録します。



### 炊き出し訓練

避難者にも手伝ってもらって、味噌汁を大鍋でつくります。ご飯は、殿下・寮・荒木別所・公民館に協力してもらい用意します。グランドでも、薪とガスコンロを使って炊きあげます。そしておにぎりを。早く着いたみなさんにはご協力をお願いします。



### 貯水装置体験訓練

断水したときのために、貯水装置が設けられています。水の出し方、使い方を消防団と一っしょに体験します。



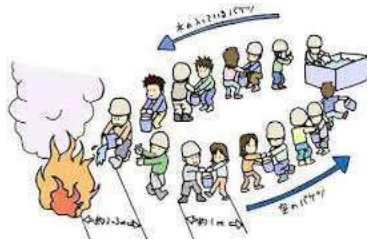
### 簡易頭巾づくり訓練

いざというときの簡易防災頭巾をつくってみましょう。



### バケツリレー訓練

災害の応急消火活動として多くの場所で実施されたバケツリレーの訓練方法や並び方などを体験します。



※簡易防災頭巾は、いざというときの簡易防災頭巾の作成を目的として作成されています。

# いま岡保地区で取り組んでいること

昨年度は、200万円のコミュニティ助成事業が認められ、各町自主防災会に、折りたたみ式リヤカー・折りたたみ担架・トランシーバーを配備（貸与）することができました。各町自主防災会でもAEDやハンドマイクなど防災備品の充実がすすめられてきています。

一昨年から各町自主防災会で取り組みをはじめたのが、「避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援プランづくり」です。自治会・自主防災会・福祉委員・民生委員・社会福祉協議会役員などで会議を持ちながら、近所の人に声かけや災害時の手助けをお願いするものです。岡保の対象者は61人で、10町で35人のプランがつくられました。今年も3月を中心に会議がもたれ、取り組みがすすめられています。

また昨年から「避難所開設検討会」を開いています。3年前に作成した『岡保地区避難所運営マニュアル』を見直し、大地震が起きたときに、実際に、避難所を開設し運営できるように、具体的に準備を進めていこうというものです。

そして、「秋の防災訓練」というものもはじめました。



## 初めての秋の防災訓練「普通救命講習」開く



「秋の防災訓練」を、昨年10月28日（日）に公民館ホールで初めて行いました。

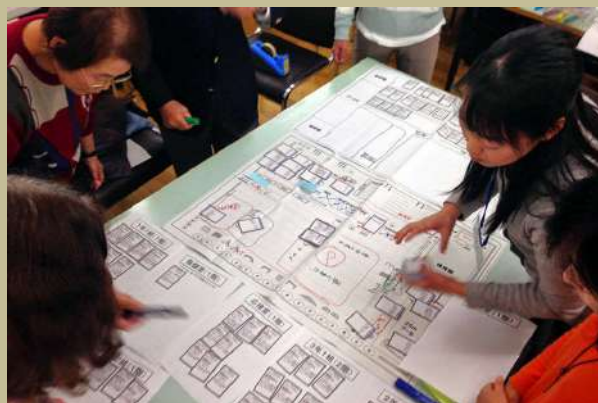
各町での防災力を高めることが目的で、東消防署から来ていただきAEDを使った「普通救命講習」に取り組みました。

参加は8町14人とどまりましたが、「不安だったけど、参加してよかった。経験しておくことがやはり大切だと思った」などの感想が寄せられました。

# 今年も避難所運営ゲーム

一楽しく学ぶー こんなときどうする！避難所に「男女共同参画」の視点!?

- 日 時 10月20日（日）  
9時～12時
- 場 所 岡保公民館
- 参加要請 各町2～5人



今年の防災訓練は10月20日（日）だよ。みんなで参加してね